vinetur

Liv-ex、米国の買いが強まり第3四半期の高級ワイン取引額が27.0%増と発表

取引は2023年以来の高水準に近づいた一方、英国の買い手は依然慎重だという

2026年11月18日（水）



ロンドンを拠点とする高級ワイン取引プラットフォームのLiv-exは、11月に発表した「第3四半期高級ワイン市場レポート」で、第3四半期の同社取引所での取引が大幅に増加したと明らかにした。米国からの買いが強まったことが追い風となったが、回復には依然としてばらつきがあり、英国の買い手は慎重な姿勢を崩していないという。

Liv-exによると、同社プラットフォームでの取引総額は第2四半期比で27.0%、2025年第3四半期比で32.3%増加した。米国の買い手が関税に備えていた2025年第1四半期を除けば、第3四半期の取引額は2023年第3四半期以降で最も高かったという。

こうした反発があったものの、取引は過去の高水準にはまだ届いていない。Liv-exによると、第3四半期の取引額は2025年第1四半期を4.8%、2023年第3四半期を1.2%下回った。

取引量も同様の推移を示した。Liv-exによると、2025年第1四半期を除けば、第3四半期の取引量は2022年第1四半期以来の高水準だった。第3四半期の取引量は2025年第1四半期を4.7%、2022年第1四半期を18.9%下回ったという。

レポートは、米国からの買いの増加を当四半期の主な動向の一つに挙げた。一方で、英国の買い手は引き続き慎重だとも指摘し、主要市場全体に取引の改善が広がっているわけではないことを示した。

Liv-exの意思決定インテリジェンス責任者、トム・バーチフィールド氏は、長期にわたる低迷期の後、市場は緩やかに回復すると予想されており、最近のデータは信頼感が戻り始めている可能性を示していると述べた。また、回復はまだ初期段階にあり、特に比較的新しいヴィンテージに関わる市場では明確な障害に直面していると語った。

バーチフィールド氏によると、比較的新しいヴィンテージは、十分な需要を集められない状態が続いている。その結果、在庫が積み上がり、このセグメントではさらなる価格下落につながっている。同氏の発言は、市場全体では買い手が戻りつつある一方、購入対象の選別は続いていることを示唆している。

レポートは第4四半期の見通しも取り上げた。レポートとともに公表された概要には同期間の詳細な数値予測は含まれていなかったが、Liv-exは、市場の方向性は、最近の米国需要の持ち直しが年末の商戦期からその後にかけても続くかどうかに一部左右されると述べた。

「米国の需要が定着するかを見極めるには、最近の傾向が年末商戦期を越えて続く必要がある」とバーチフィールド氏は述べた。「ただ、価格の安定が広がり、取引も活発になっていることから、市場が回復の次の段階に入ったと考える理由はある」

第3四半期の数値は、過去2年の大半に市場で見られた水準と比べ、Liv-exでの取引が活発化したことを示している。2025年第1四半期との比較は特に注目される。Liv-exは同四半期について、米国の関税懸念を背景とする異例の高水準だったと説明している。その状況を踏まえても、直近の四半期は、近年の同プラットフォームで最も活発な時期の一つに位置づけられた。

2023年第3四半期との比較からも、市場は信頼感がより広く損なわれる前の水準に近づいたことがうかがえる。一方、近年のヴィンテージや在庫の積み上がり、英国の買いの慎重さに関するLiv-exの指摘は、取引額の見出し上の増加が、高級ワイン市場全体の本格回復にはまだ結びついていないことを示している。

レポートのデータは、世界のワイン市場全体ではなく、Liv-ex上での取引を反映している。それでも、金額と量の両方が増えたことは、同プラットフォームで取引されたワインが増え、買い手が前四半期および前年同期より多くの資金を第3四半期に投じたことを示す。Liv-exは、価格の安定がさらに広がるか、米国の需要が持続するかが第4四半期に引き継がれるかどうかを注視すると述べた。